

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 64-017553

(43)Date of publication of application : 20.01.1989

(51)Int.Cl.

H04M 15/00
H04M 15/16

(21)Application number : 63-147075

(71)Applicant : AMERICAN TELEPH & TELEGR CO
<ATT>

(22)Date of filing : 16.06.1988

(72)Inventor : MARINO PATRICK J
NETRAVALI ARUN N

(30)Priority

Priority number : 87 66917

Priority date : 25.06.1987

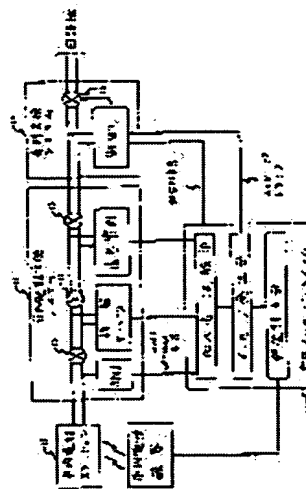
Priority country : US

(54) PAID EXCHANGE SYSTEM FOR TELEPHONE

(57)Abstract:

PURPOSE: To solve a service charge problem of a charged guidance and to promote further extension of the charged guidance service by sending an advertising message before call communication is started.

CONSTITUTION: A subscriber analysis in an advertising message system 13 decides that a caller desires discount of a charge resulting from hearing advertisement, the system 13 generates a proper message. The message is sent to a local telephone station 11 via any of message trunks through a charged exchange system 14 and a local exchange system 12. When the advertising message is finished, a proper charge bill item is generated by a charge bill section of the advertising message system 13 and the discount charge is informed to a customer. Thus, a problem that the charged guidance service charge is too expensive is solved and the charged guidance service is furthermore promoted.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

⑫ 公開特許公報(A)

昭64-17553

⑪ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和64年(1989)1月20日

H 04 M 15/00
15/16Z-7406-5K
7406-5K

審査請求 未請求 請求項の数 8 (全6頁)

⑭ 発明の名称 電話有料交換システム

⑮ 特 願 昭63-147075

⑯ 出 願 昭63(1988)6月16日

優先権主張 ⑰ 1987年6月25日 ⑱ 米国(US) ⑲ 066917

⑳ 発 明 者 バトリック ジョン アメリカ合衆国, 07748 ニュージャージー, ミドルタウン, バウテルコート 2

㉑ 発 明 者 アルン ナラヤン ネットラバリ アメリカ合衆国, 07090 ニュージャージー, ウェストフィールド, バイロンコート 10

㉒ 出 願 人 アメリカン テレフォソン アンド テレグラフィ カムパニー アメリカ合衆国, 10022 ニューヨーク, ニューヨーク, マディソン アヴェニュー 550

㉓ 代 理 人 弁理士 三俣 弘文

明 細 書

1. 発明の名称

電話有料交換システム

2. 特許請求の範囲

(1) 呼び出し番号の識別を自動的に確立する手段(AN1)と

少なくとも1つの有料サービスの料金を自動的に決定する手段とを備えた電話交換システムにより電話ステーションを電話回路網に接続する電話有料交換システムにおいて、

記録広告に注目して呼び出し番号が減少料金又は代価を受けるべきかを決定すると共に、対応する請求書又は代価を発生する手段(13)、及び、

発呼者の選択が決定される間に有料サービスに対するアクセスを送らせる手段(制御信号接続)と、

市内電話ステーション(11)に対して記録された広告を送る手段(メッセージトランク)を備えていることを特徴とする電話有料交換システム。

(2) 市内電話ステーションに送られる記録広

告を選択する手段(例えば、アクセス符号、選択サービス、呼び出し番号、または自動番号識別)を更に備えていることを特徴とする特許請求の範囲第1項に記載の電話有料交換システム。

(3) 決定する手段及び(又は)選択する手段は市内電話ステーションと相互作用することを更に特徴とする特許請求の範囲第2項に記載の電話有料交換システム。

(4) 電話有料サービスは番号案内呼び出しであることを更に特徴とする特許請求の範囲第3項に記載の電話有料交換システム。

(5) 電話有料サービスは長距離呼び出しであることを特徴とする特許請求の範囲第3項に記載の電話有料交換システム。

(6) 選択する手段は市内電話ステーションを使用発呼者に関する広告の種類に関連する料金を割り当てる能力を使用していることを特徴とする特許請求の範囲第2項に記載の電話有料交換システム。

(7) 選択する手段は広告の種類に関連する料

金を割り当てるために市内電話ステーションと相互作用する手段を有していることを更に特徴とする特許請求の範囲第3項に記載の電話有料交換システム。

(8) アクセスを遅らせる手段は広告を送る手段が記録広告を送っている間続行されることを特徴とする特許請求の範囲第1項、第3項又は第7項に記載の電話有料交換システム。

3. 発明の詳細な説明

(発明の背景)

〔産業上の利用分野〕

本発明は電話番号案内又は長距離呼び出しのような電話有料サービスを提供するシステムに関する。

〔従来技術の説明〕

電話番号案内の料金請求が電話会社により最初始められて以来、電話の顧客のあるものはこの請求は高すぎると考えている。また、長距離呼び出し用の請求料金は依然として高いとも感じている。電話サービスの規則の緩和及び競争の増大の時

ブションが決定された後、一般的には、呼び出し用の通信が始められる前に、聴覚的又は視覚的又はこの両方の記録放送が加入者線に接続される。この放送は少なくとも1つの広告を含む。この広告はなんらかの所定の選択技術に従ってデータバンクから選択される。これはサービスを加入者に魅力あるものにするファクタ又は特徴及び、サービスを広告主に対して十分に報いあるものにする性質のものである。広告の放送が終わった後に、有料呼び出し、番号案内呼び出しが通常のごとく処理されるが、請求料金は減額され、あるいは代金が顧客の口座に自動的にあたえられる。

この種のサービスはいくつかの附随的な特徴に弾力的に役立つ。又発呼者がサービスを求めるには種々の方法がある。例えば、発呼者は周期的又は時々そのサービスに加入することができる。あるいは又、どの加入者も特定のアクセス符号をダイヤルして、例えば、700型サービスに接続されるようにすることによって、このサービスを求めることができる。

代に、電話会社は、長距離電話会社及び地方電話会社共、顧客の意見が充分広く根拠のあるものである場合、これらを見捨てることのできない。

一方、号案内、他の情報サービス及び長距離サービスの費用をカバーする充分な収入を回収することは重要である。

又種々の電話有料サービスがこれらのサービスへの要求を越えて利用できる領域がどの電話回路網にも存在する。どの電話会社もあらゆる種類の有料サービスを含む余分の利用可能なサービスの拡張利用を促すことが経済的に望ましい。極端な場合、このサービスの拡張利用を促す能力により電話サービス提供者の経済的生存能力及び非生存能力との間に差が生じる可能性がある。

(発明の概要)

上記の問題は、例えば、適切な信号を送って、番号案内呼び出し又は他の電話有料呼び出しの番号をダイヤルすることによって電話加入者が経済的なサービスを選択する経済的電話有料サービスを提供する本発明により解決される。発呼者のオ

本システムは又、広告主の要求が適切に考慮されてその広告がある最小回数適切な時間間隔で聴取され、又は適切な群の発呼者により聴取されるようにサービスを調整することに役立つ。

この新しい電話有料サービスは、発呼者が広告に含まれる特定の情報を捜さずに、実際、発呼者は他の情報を捜したり、又は、個人的な長距離電話をしようと試みたりする点で電話ショッピングサービスとは異なる。それにもかかわらず、発呼者は一般的には広告の選択技術が自分の一般的な興味に適した広告を選ぶに通している場合、この広告の主題に非常に興味を持ち得る。

広告主は自分の広告を発呼者が実際に聞いているという確信が持てるように広告期間は相互作用的にすることができ、そして、それらのは種々の長さのものにして、係わりあう特定の人々にとって、聴取者が放送期間中飽きることはないようにしている。発呼者が実際に聞いているかどうかを証明する1つの方法は、メッセージに挿入された断続的な質問に回答して発呼者が英数字信号又は

音声信号のいずれかを送るように入呼者に頼むことである。に各広告の終りに、顧客は、例えば、自分の電話キーパッドで番号9を押すように要求されることがある。又、広告の内容は階層的に配列することができ、これで顧客がボタンを押してより多くのクレジットを与える広告の詳細を更に詳しく聞くことができる。

好都合にも、このサービスに関する広告主からの収入は使用電話加入者からの収入減に完全に等しくなる必要はない。それは、電話システムのピーク外れ期間における予備の容量の使用を促進し、又は、顧客を更にしばしば有料呼び出しに慣らすサービスの特性のためである。更に、料金請求は呼び出しあたりの請求料金の減少、又は、何らかの有料サービスに対する月ごとのクレジットとすることもできる。又、商品又はサービスの購入に有効なクーポンは全部又は一部として入呼者が自分の協力に対する代価を受け取る形とすることもできる。

(実施例の説明)

そして、一般的には、これは適切な市外局番の後には104をダイヤルすることにより接続される。あるいは又、市内交換システム12は又、顧客がダイヤルする始めの数字に依存して、顧客が時間又は天候のような特定の情報サービスを求めているということを検出することもできる。これらのサービスのいずれかに対する要求も広告メッセージシステム13からの広告メッセージを聞いたり又は見たりすることに対する減額料金又は返還代価を加入者に提供する機会となり得る。

最も大きい使用量は長距離電話から生じると考えられる。市内電話交換システム12内のルーチン自動番号識別(ANI)は広告メッセージシステム13内の加入者分析設備と共に、この顧客を割引長距離電話料金を受けたい者と認識すると、顧客の有料呼び出しが完了する前に、顧客の入力線が広告メッセージシステム13に自動的に接続される。サービスの最も簡単な形では、例えば、顧客が割引引きを受けたいということを示す適当な付加(最初又は最後の)数字をダイヤルすることによ

第1図で、市内電話ステーション11は普通の場合一般的な電話機であって、一般的な市内ループ線及び接続部により市内電話交換システム12に接続されている。この市内電話交換システム12は有料交換システム14を介して全電話回路網に接続されている。市内電話交換システム12及び有料交換システム14に広告メッセージシステム13が接続され、この広告メッセージシステム13は、上に概略した特徴の放送及び関連する料金請求事項を提供するようになっている。

一般的に、市内電話ステーション11は概略示した市内電話機の顧客により使用され、この顧客には、広告メッセージシステム13からの広告メッセージを聞いたり見たりした場合に顧客が受け取る減額した電話料金の請求額又は、代価の総計を示す請求書が返還される。

更に詳しいこのシステム内部接続は次の通りである。市内電話ステーション11からの線は、顧客の請求により、市内交換システム12の番号案内モジュールに交換要素15の部分を経由して接続され、

って顧客が自分の現在の呼び出しを開始した場合は、ANIルックアップをすることは必要ではない。あるいは又、いずれの形でも、別の人が同一の線を(家庭の電話の場合のように)使用する場合、2桁の頭の数字を使用することができる、即ち、最初の数字はサービスの開始のためであり、そして、第2の数字は相手を特定するものである。

市内電話交換システム12で識別された上記の状態の全てにおいて、信号は広告メッセージシステム13に送られ、これにより、制御信号が有料交換システム14、更に交換要素16に送られて、この有料サービスの新しい特徴が提供されるまで加入者の呼び出しが中止される。従って、この時点では、市内電話の加入者はより大きな電話回路網とは接触していない。

料金請求のために、市内加入者の呼び出しの全ては料金請求に関係する場合、市内電話交換システム12のANIに入る。これは現在の電話システムでほとんど問題なしに迅速に行なわれ、そして、上述のように最初に又は後で行なうことができる。

いずれの場合にも、発呼者が料金減額の市外サービス望むか否かを決定するために、広告メッセージシステム13内に示された加入者分析をその呼び出しに対して行なうことができる。このようなサービスに興味を持たず、そして、有料交換システム14を介して回路網にアクセスする場合に遅れを望まない加入者にとって、この加入者分析は、この加入者の呼び出しが遅延され又は干渉されるべきではなく、直ちに有料交換システム14に接続されるべきであると直ちに決定できる。呼び出し側が丁度今述べた動作に気付かないようにこれらの分析全てを充分迅速に行なうことができる。

一方、広告メッセージシステム13内の加入者分析が呼び出し側が広告を聴いたり受けたりすることによる料金の減額又は代価を望むものであるということを決定すると、広告メッセージシステム13の適当な装置によって適切なメッセージが発生され、そして、このメッセージはメッセージバンクの1つを介して、有料交換システム14と市内交換システム12を通して市内電話ステーション11

に送られる。

実際、特に、市内加入者が自分の電話線に接続したモニタ又はテレビジョン装置を利用可能としている場合、これらの広告メッセージは聴覚的又は視覚的のいずれのものであってもよい。これらの広告メッセージが終ると、有料交換システム14内の制御回路網は市外呼び出しに関する通信阻止を除去し、呼び出しは通常の仕方では制御回路網を介して送られる。明らかに、上述のごとく、ダイヤルによる呼び出しを阻止するために、有料交換システム14の制御要素は呼び出し情報を記憶する十分な記憶容量を必要とする。尚、発呼者は他のオプションを有している。即ち、発呼者及び被呼者の両方が聞いている会話中に広告をすることができる。この場合には、呼び出しの阻止は発呼者のこのオプションが決定されるまで続くのみである。

メッセージの終りにも、適当な料金請求項目が広告メッセージシステム13の料金請求部により発生され、そして、この減額料金の請求及び(又は)

代価が累積され、そして、顧客の家に毎月の請求書と共に送られる。

どんな広告メッセージがどの呼び出し側の線に接続されるかを決定するための種々の基礎事項の中で、最初のもは、システムに利用可能な種々の種類の人口統計情報である。例えば、ある量の人口統計上の群はANIに含まれる電話局符号により提供される。特定のメッセージは、例えば、ある番号の領域からの番号案内要求の際に放送される。この領域では、この領域に住む人々が特定の主題に興味を持ちがちであるということが決定される。同様な情報は、発呼者が別の番号の領域又はその国の別の州又は領域に興味を持つということを示す被呼者のダイヤルアクセス符号又は電話局符号から得ることもできる。この種の選考により又、特定のクラスの発呼者、例えば、ビジネスマンの発呼者の場合、特定の種類の広告を除去することが可能になる。実際、この後者の場合、たとえ広告で減額料金の電話有料サービスを得ようと、選択をするとしても、この種のサービスは

ビジネスマンに向けないことが望ましい。ANIによりこのサービスにはこの程度の制限を加えることは可能である。

提供されるべきメッセージを決定する他の根拠は次の例から説明することができる。(電話のキーパッドにある*印又は#印のような記号の)接頭符号はこの新しい経済的な市外サービスを始めるアクセス符号とする。有料呼び出しは、例えば、*+(区域符号)+(7つの数字)をダイヤルすることによって送られる。発呼者がこのサービスに興味を有しているということが市内電話局は認識して、次のごとく記録メッセージを発生する。

「あなたの電話パッドのキー1、2又は3を押して1分間、2分間又は3分間の広告を選んで下さい」

発呼者がキーを一度押すと、記録された音声放送及び(又は)テレビ表示が呼び出し側に送られる。一連の広告はこの選ばれた放送時間を占有するために選ばれる。これは、個々の広告の大部分が1分間よりもはるかに短いからである。

これらの放送も又不規則に選ぶことができ、あるいは、このサービスに広告を提供した広告主の各々に充分示すように選ぶことができる。いずれにしても、これらの広告は大規模な大量メモリに記憶される。

広告は発呼者の興味に集中され、従って、広告主にとって更に有効となり得るように、このサービスに一般的に興味を持つ発呼者は電話会社に、例えば、自分の毎月の請求書の適当なチェックオフによっていくつかの異なるカテゴリーの主題のどれに発呼者が興味を持つかを知らせることができ、又は、時々発呼者が別個のプロフィルカードに書きこんで、助けとなる更に詳細な背景及び興味に関する情報を電話会社に時々与えることができる。

興味のプロフィルは人にとって特有なものであって、電話番号ではないので、上記のように放送された初期の予備的な放送の後に、メッセージは特定の呼び出し番号に関連する多くの個々の人のどれに発呼者が当たるかについて発呼者に自分自

身を識別するように要請することができる。この情報は記録された広告のどの組を発呼者が聞くかに影響する。

更に、発呼者の興味の事柄の中で、順ぐり式の適当な広告配列は適切な広告の無視を確実に防止するに役立つ。

別の可能な実施は次の通りである。まず、情報サービスブロック(15)で連続的に数個のテープが回されるとする。各テープは特定の興味に関する情報を含んでいる。このようなサービスを要求する各顧客はある時間の間このテープに接続される。顧客は多少なりとも不規則にこれらのテープからの広告を聞くはずである。実際の実施はテープを使用しなくてもよいが、この方法は安上りのものである。

上記のサービスの種々の形の全てにおいては、明らかに、例えば、適当な数字をダイヤルすることによって、顧客は今又は後で、記載資料が自分に送られることを望むか又はセールスマンに話しかけることを望むということを顧客が示すことが

可能となるように相互作用論理回路を拡張することができる。

尚、あきらかに、時間の経過に従って発生されるANI及び料金請求情報及びプロフィルカードに関するデータの大部分から、広告主に利用可能で、そして、広告主にとってサービスの価値を増大する統計的な情報が多く存在するはずである。それでも、特定の個人のプライバシーを保護する努力はなされるべきである。

第2図に論理的な仕方で前述のメッセージの選択基準の大部分を示す図を概略示した。

(発明の効果)

本発明では上記従来技術の問題点である有料案内サービス料金の問題を解決すると共に有料案内サービスの一層の拡張促進をはかることができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明を実施する電話有料システムのブロック線図、

第2図は特定の加入者線に接続された放送の種類を選択に関連する電話有料システムの一部のブ

ロック線図である。

出 願 人：アメリカン テレフォン アンド
テレグラフ カムパニー
代 理 人：三 俣 弘 文



FIG. 2 22

